

担当教員 山中由里子	Instructor Name YAMANAKA Yuriko			
開講期 後期	Class Starts at 2 nd Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DRSb10		単位 / Credit 2		
科目名称： 西アジア文化研究特論		Subject: Proseminar (West Asian Studies)		
<p>授業概要：</p> <p>モノと語りの相関関係を考える / 演習</p> <p>人は特定の物体に特別な意味や価値を付加するための言説を語りたがる。また、形のない概念や感情を言語化すると同時に、モノとして具現することもある。</p> <p>モノは語りを生み出し、語りがモノを生み出し、モノの移動とともに語りも伝わり、語りの文脈が廃れるとともにモノも消えゆく。</p> <p>このような物と言説の有機的な結びつきについて、物質文化研究とテキスト研究の双方向から考察する。</p>				
<p>Course Description:</p> <p>Correlation between Narrative Objects and Object Narratives / Seminar</p> <p>Humans often tell certain narrative that attach special meaning and value to certain objects. Also, intangible notions and emotions sometimes acquire tangible forms when they are verbalized in the form of a narrative. Things give birth to stories and stories give birth to things. Stories are transmitted along with the migration of objects and when a narrative context dies away, objects attached to it also disappear.</p> <p>We will consider this organic connection between objects and narratives, not only from the point of view of material culture, but also from textual studies.</p>				
<p>教育目標・目的：</p> <p>モノや一次資料から情報を読み取る力をつける。</p> <p>モノとことばの関係性について考える力をつける。</p> <p>歴史・文化・社会的な文脈のなかでのモノの意味を解釈する力をつける。</p>				
<p>授業計画：</p> <p>人間が作り出した道具や装飾品、自然界に存在する動植物や鉱物にまつわる言説に、個人・共同体の思い入れや美意識がどのように反映されているか、モノや人の移動とともに、その語りがどのように変容するかといったことを、以下のテーマを軸に考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語りの道具、祈りの道具 ・ モノの伝播と語りの伝播 ・ モノが持つ象徴性、隠喩としてのモノ ・ 記憶装置としてのモノ <p>歴史資料、文学作品、絵画などの読解力を養う。博物館の標本資料も有効活用する。</p> <p>22.5 時間分の授業を、教官および学生の出張・調査等に合わせて日程調整する。</p>				

成績評価：

授業での発表：7割

レポート：3割

実施場所：

国立民族学博物館 4階、演習室（そのつど予約する）

使用言語：

日本語

教科書・参考書：日本語

特になし

備考：日本語

西アジアの事例を中心とするが、それ以外の地域を専門とする学生も歓迎する。

地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可。